

第3研究課題 第3分科会

「教育環境整備に関する課題」

研究主題 G I G Aスクール構想の実現と教頭の関わり

ー I C T環境の整備と活用の在り方ー

松山市立生石小学校 石橋 恵美

1 研究の概要

社会の在り方が劇的に変わる Society5.0 時代の到来や予測困難な時代を生き抜くことを見据えたG I G Aスクール構想は、新型コロナウイルスの感染拡大という危機に直面したことにより、加速度的に整備が進められた。また、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指している「令和の日本型学校教育」を構築する上でも、I C Tの活用環境を整えていくことは必須である。

松山市においても、「第4次まつやま教育プラン21」の「施策方針(5)グローバルな視点を育む教育の推進」の施策③にI C Tを活用した情報教育の推進を挙げ、小中学校のI C T環境の最適化に努めている。しかし、I C T環境というハード面は整いつつあるものの、G I G Aスクール構想の実現に向けた取組や教育実践といったソフト面については、スタート地点であると考えられる。

そこで、松山市や各校の実情を踏まえ、自校の取組を実践・検証することにより、教育I C T環境の整備と活用の在り方について、教頭としてどのように関わっていくのか考察することで研究を深めたいと考え、本主題を設定した。

2 研究の内容

実践内容	教頭としての関わり
(1) 松山市の取組	
ア ICT環境の整備	○ 関係諸機関との連絡調整
イ 実態把握	○ アンケートの集計と結果分析
(2) 本校の取組	
ア ICT活用指導力の向上	○ 校内研修への指導助言
イ 通信環境の整備	○ 関係諸機関との連絡調整
ウ 1人1台端末の活用	○ 情報教育主任との連携
エ ICT支援員の活用	
(3) 成果と課題	
ア 成果	○ 成果と課題の確認
イ 課題	○ 松山市教頭会での情報共有

3 教頭としての今後の課題

- (1) 教職員のI C Tスキルの向上のために、教頭としてどのように取り組むか。
- (2) I C T環境の整備のために、関係機関と松山市の教頭がどのように連携していくか。